

# 集落営農の推進

(集落営農・拠点ビジネス支援事業 + 集落営農普及促進事業)

## ステップアップ

農業集落  
2,459集落

組織化

集落営農組織  
170組織 → 250組織 (H27)  
多様な担い手の確保  
・農作業の効率化  
・生産コストの低減 など

こうち型集落営農組織  
17組織 → 32組織 (H27)  
●園芸品目の導入  
●協業化

既存の組織から新たな取り組みへのステップアップ

法人数5組織 (H26年4月時点) H26年度中に新たに3組織法人化予定

法人化  
法人推進加算活用  
27組織 (H27)

## 事業による推進

補助率2/3に高上げ

中山間地域等直接支払制度 768協定 (H24)

●【H24～】法人化、拠点ビジネス化に向けた支援  
ハード事業  
①「法人推進加算」「拠点ビジネス推進加算」により法人・拠点ビジネスの取組を加速化  
【補助率】県 1/10以内 市町村 1/15以上  
【採択要件】  
①「法人化計画」を作成する、3年以内に法人化を目指す集落営農組織または法人設立3年以内の集落営農組織に支援  
②「拠点ビジネス推進計画」を作成し、加工・交流に取り組む集落営農組織に支援

●組織化へ向けた支援  
【ソフト】  
・意識醸成を図るための先進地視察や研修会  
【ハード】  
・農業用機械、施設整備  
・水路などの基盤整備

●既存組織への支援  
【ソフト】  
・ステップアップのための先進地視察や研修会  
【ハード】  
・農業用機械、施設整備

●こうち型、拠点ビジネス化、法人化への支援  
(園芸品目等の導入・経営の多角化、拠点ビジネス化)  
【ソフト】  
・拠点ビジネスに向けたアドバイザー派遣  
・集落営農の拡大のためのアドバイザー派遣  
【ハード】  
・農業用機械、施設整備  
・農産加工用機械・施設や農村交流施設の整備  
・法人及び拠点ビジネス推進のための加算枠

●こうち型、拠点ビジネス化、法人化への支援  
(園芸品目等の導入・経営の多角化、拠点ビジネス化)  
【ソフト】  
・拠点ビジネス化や集落営農組織レベルアップのための講座開催  
・こうち型、法人化にステップアップするための先進地視察や研修会開催  
・農産加工やオンライン取引への取組の推進やアドバイザー

## 集落営農の取り組みを早期に波及

●普及活動  
①こうち型集落営農の成果・ノウハウを早期に周辺地域に波及  
②市町村(担い手育成総合支援協議会)・JA等と連携した体制整備  
③集落のリーダー育成や、集落営農組織のステップアップへの支援

●コアリーダー・集落リーダーの育成  
・コアリーダー・集落リーダーの育成研修、講座の開催  
・先進地視察(事例調査)

●こうち型、拠点ビジネス化、法人化への支援  
(園芸品目等の導入、拠点ビジネス化、経営の多角化)  
・拠点ビジネス化や集落営農組織レベルアップのための講座開催  
・こうち型、法人化にステップアップするための先進地視察や研修会開催  
・農産加工やオンライン取引への取組の推進やアドバイザー

●こうち型、拠点ビジネス化、法人化への支援  
(園芸品目等の導入・経営の多角化、拠点ビジネス化)  
【ソフト】  
・拠点ビジネス化や集落営農組織レベルアップのための講座開催  
・こうち型、法人化にステップアップするための先進地視察や研修会開催  
・農産加工やオンライン取引への取組の推進やアドバイザー

●こうち型、拠点ビジネス化、法人化への支援  
(園芸品目等の導入・経営の多角化、拠点ビジネス化)  
【ソフト】  
・拠点ビジネス化や集落営農組織レベルアップのための講座開催  
・こうち型、法人化にステップアップするための先進地視察や研修会開催  
・農産加工やオンライン取引への取組の推進やアドバイザー

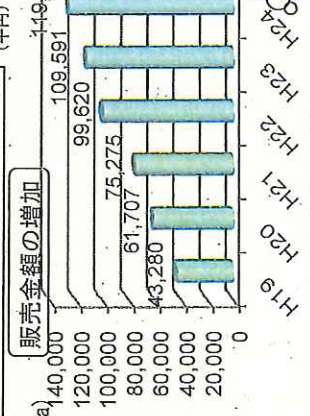
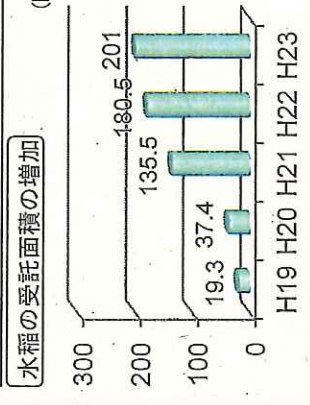
早期に地域農業を支える集落営農の育成が必要!

## 現状と課題

- 担い手の減少  
農業就業人口 47,019人 (H12) → 40,134人 (H17) → 34,128人 (H22)  
販売農家数 24,881戸 (H12) → 21,069戸 (H17) → 18,479戸 (H22)
- 高齢化の進行  
農業従事者の高齢化率 43% (H12) → 54% (H17) → 56% (H22)
- 耕作放棄地の増加  
耕作放棄地面積 3,626ha (H12) → 3,810ha (H17) → 3,920ha (H22)
- 8市町村で集落営農組織がない ⇒ 県域での取り組みができていない

モデル集落の成功事例を県内全域に波及!

## こうち型集落営農モデル集落 (17集落) の成果



※課題  
園芸品目等の導入により販売金額は増加しているが、さらなる所得の確保を図るためには経営の多角化・高域化が必要

販売金額1.2億円

受託面積200ha突破! (H24実績集計中)

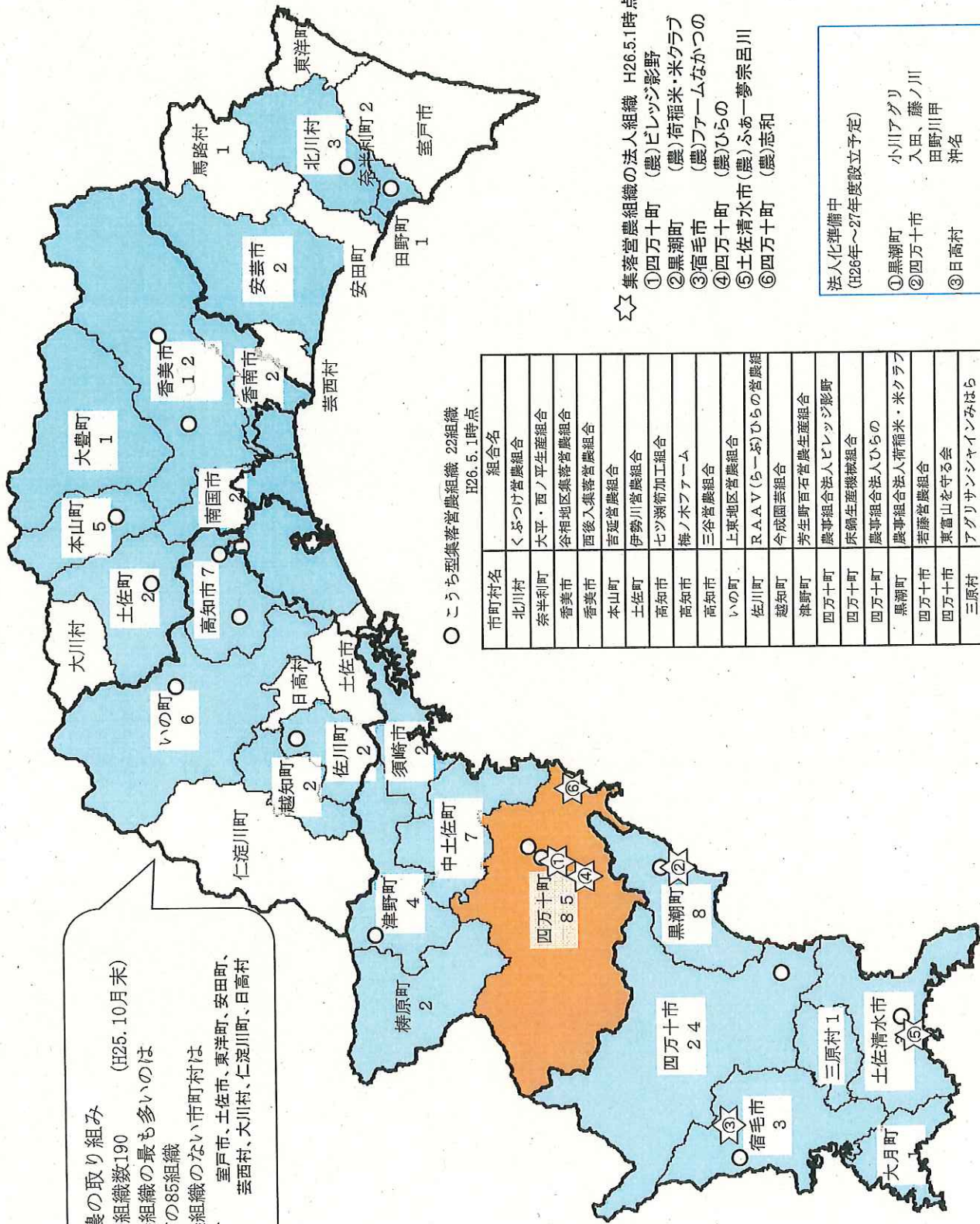
農家の所得向上、地域農業の維持・活性化

市町村の主体的取り組みへ



# 高知県における集落営農組織の状況

- ◆ 集落営農の取り組み (H25.10月末)
- ・ 集落営農組織数190
- ・ 集落営農組織の最も多いのは 四万十町の85組織
- ・ 集落営農組織のない市町村は 8市町村  
室戸市、土佐市、東洋町、安田町、芸西村、大川村、仁淀川町、日高村



○ ouchi型集落営農組織 22組織  
H26.5.1時点

市町村名	組合名
北川村	くぶつけ営農組合
奈半利町	大平・西ノ平生産組合
香美市	谷相地区集落営農組合
香美市	西後入集落営農組合
本山町	吉延営農組合
土佐町	伊勢川営農組合
高知市	七ツ湖筋加工組合
高知市	梅ノ木フアーム
高知市	三谷営農組合
いの町	上東地区営農組合
佐川町	RAAV(らーぶ)ひらの営農組
越知町	今成園芸組合
津野町	芳生野百石営農生産組合
四万十町	農事組合法人ビレッジ影野
四万十町	床錦生産機械組合
四万十町	農事組合法人ひらの
黒潮町	農事組合法人荷稻米・米クラブ
四万十市	老藤営農組合
四万十市	東富山を守る会
三原村	アグリサンシャインみはら
土佐清水市	農事組合法人ふぁー夢宗呂川
宿毛市	篠南集落営農組合

☆ 集落営農組織の法人組織 H26.5.1時点

- ① 四万十町 (農)ビレッジ影野
- ② 黒潮町 (農)荷稻米・米クラブ
- ③ 宿毛市 (農)フアームなかつの
- ④ 四万十町 (農)ひらの
- ⑤ 土佐清水市 (農)ふぁー夢宗呂川
- ⑥ 四万十町 (農)志和

法人化準備中 (H26年～27年度設立予定)	
① 黒潮町	小川アグリ
② 四万十市	入田、藤ノ川
③ 日高村	田野川甲
	沖名